

専門科目 保健政策・医療管理学

(専門職学位課程)

科目名	リーダーシップ・マネジメント論	code number : HPM-BIZ 214	選択	1 単位
-----	-----------------	------------------------------	----	------

科目責任者	石川 ひろの 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	後期(後半)	曜日・時限	水曜 1,2時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

医療は大きな社会システムの一部である。その医療も人間から成り立つ組織であることには変わりはない。そうした医療に関する組織でリーダーシップを発揮し組織に貢献するには人間組織の理解が不可欠である。本講義では、組織一般の理解を深めるために一般の経営学を基礎にした学習を行う。また、いわゆる正解のない分野であるため、異なる視点からの討論を中心に講義を進める。これらの内容を通じて、公衆衛生分野で将来のリーダーとなるべき人材として必須の知識・技能を修得することを基本目標とする。また、最近インターネットの普及やマスメディアの情報発信機能の向上により、ヘルスコミュニケーションのあり方は大きく変化している。そこで、医療専門家から国民に広く発信する情報提供(診療実績、診療ガイドライン、疫学調査報告、臨床試験登録など)、医療専門家でなくマスメディアから国民に広く発信する情報提供(ニュース、健康番組など)、医療専門家間での情報交流(専門誌、学会、研究会、インターネットなど)、患者を含む国民の間での情報交流など様々なレベルでのヘルスコミュニケーションについてその意義や課題について討論する。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1. 人間組織一般について理解する。
2. その一般理論を保健医療の分野に応用できる・個人や社会として最適な健康上のアウトカムを得るために必要な医学・医療に関する知識や情報を正確かつ効果的に伝達し、受け手に理解してもらうヘルスコミュニケーションの理論体系を理解する。

【行動目標(SBO)】

1. 具体的な状況をシミュレーションしながら、ヘルスコミュニケーションが実践できる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)プレゼンテーション (40%)
- (2)積極的な授業参加 (30%)
- (3)討論の論点の把握と対応力 (15%)
- (4)レポート (15%)

注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は、原則として減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

- ・各授業で予習すべき文献を指定する。

5. 参考書

- ・Drucker PF. Management: tasks, responsibilities, practices. Harper, 1973
- ・岩崎夏海:もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら ダイヤモンド社, 2009年
- ・P.F.ドラッカー著、上田惇生編訳「エッセンシャルズ版マネジメント―基本と原則」ダイヤモンド社, 2013年
- ・石川 ひろの, 武田 裕子(翻訳). 患者と医師のコミュニケーション. 篠原出版新社, 2007年

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・指定文献を授業出席者全員が事前に読むことを求める。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

リーダーシップ・マネジメント論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	11/27(水)	1	中田 善規 教授	導入（組織マネジメント論と事業マネジメントの基本）
2	11/27(水)	2	中田 善規 教授	リーダーシップ（リーダーシップの種類と自己分析）
3	12/4(水)	4	石川ひろの 教授	健康づくり政策における保健指導・健康教育の実際 特定健診・保健指導、データヘルス計画等、現在の健康づくり施策における保健指導や健康教育の考え方と実際について学ぶ。
4	12/11(水)	1	石川ひろの 教授	患者・医療者間のコミュニケーション 患者・医療者関係に関する理論と概念を学び、患者とのコミュニケーションのあり方について考える。
5	12/11(水)	2	石川ひろの 教授	ヘルスコミュニケーションの評価と実証研究 医療コミュニケーションの評価方法と実証研究を紹介し、臨床や教育への応用について考える。
6	12/20(金)	1	石川ひろの 教授	医療や職域における保健指導と健康教育の実際 ヘルスコミュニケーション理論に基づいた質問紙や面接法による評価方法について学び、代表的な評価方法の幾つかをマニュアルにそって実施する。
7	12/20(金)	2	石川ひろの 教授	グループ・組織内コミュニケーション グループ・組織におけるコミュニケーションの理論を紹介し、保健医療スタッフ間のコミュニケーションについて考える。
8	12/25(水)	2	石川ひろの 教授	メディアを通じたコミュニケーション 健康医療情報の普及におけるマスメディアの役割及び影響を考えるとともに、エンターテインメント・エデュケーション、シリアスゲームなど、新しいヘルスコミュニケーションの手法について紹介する。